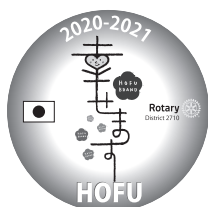


G

2020-2021 ROTARY INTERNATIONAL District 2710

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



Contents

- ガバナー挨拶…………… P02
- 疾病予防と治療月間…………… P03
- 第1回ローターアクトクラブ地区協議会報告…………… P04
- 第2回諮問委員会報告…………… P05

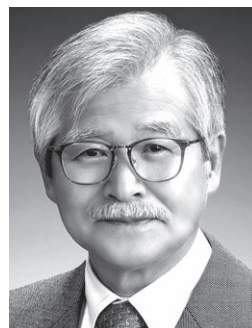
- 特別コラム…………… P06
- 新会員紹介/出席率…………… P07
- 地区大会PR/編集後記…………… P08



うしろ姿のしぐれてゆくか

国際ロータリー第2710地区
2020-21年度ガバナー

脇 正典



一見、雨の中を寂しく歩く山頭火を想像しますが、実は昭和6年12月31日大晦日に作られています。新年への新しい旅立ちへの意気込みを山頭火なりに表現しています。

早いものでもう12月、あと1か月で正月です。7月にガバナーに就任して半年が経過いたしました。本来なら地区大会も終わり一段落というところですが、コロナ禍で中途半端です。地区大会に向けて再出発です。地区大会用の事務局・事務局員も決まりました。防府地区3クラブで一致協力して準備いたします。



7月13日に福山RCからスタートしました公式訪問はあと4クラブを残すのみです。コロナ禍や台風で中止や延期になったところもありましたが、ガバナー補佐さんや各クラブの会長さんを始め皆さんに温かく迎えて頂き無事完了できそうです。ありがとうございました。

フォーラムの内容については、先月号の月報に記載しましたので、フォーラムの形態について述べたいと思います。

今年度は合同公式訪問をお願いしました。ガバナー補佐さん・クラブ会長さんのご尽力で14か所予定できました。通常は2か所の合同でしたが、5か所・3か所のところもありました。2か所合同の場合、クラブフォーラム(1)・合同例会・クラブフォーラム(2)のパターンと、合同例会・合同クラブフォーラムの形がありました。午前中クラブフォーラムの時は、例会での卓話と重なることがあり、話しぶりこともありました。合同クラブフォーラムでは、ガバナー補佐さんとクラブ会長・幹事さんとの事前の話し合いが重要です。同じ議題を2つのクラブにそれぞれ聞きました。支障なくできたと思います。

初めての経験でした5クラブ合同での下関の公式訪問は心配な面もありましたが、円滑に実施できました。広い会場でしたが、今年度はコロナ対応ソーシャルディスタンスの関係で会員の7割しか出席できませんでした。その点は残念なことでした。5クラブで実施できたのは、日ごろから交流があ

り、今回が40回目の5クラブ合同例会であり、5クラブ合同の一斉清掃を行っている素地があって実現しました。クラブフォーラムも各クラブ1つ、5つの協議題を合同で実施できました。単独のクラブのフォーラムでは同じような内容が多くむしろ5つの項目があり、他のクラブの様子も知ることができ好評だと感じました。ただ今後同じような規模であるIMと似てくる要素があるかなと感じました。

山口県と広島県の違いも実感しました。広島のように中核都市がある県は広島にロータリークラブが集中しており、広島市内の各クラブは会員数も多く、望ましい人数に達しており、維持に重点がおかれ、会員増強に危機意識は感じませんでした。広島周辺部のクラブは会員減少に歯止めがかからなく、危機意識も相当なものでした。

山口県の場合は、中核都市がない関係で、そこそこの市が連なっており、同じような規模のクラブが多く見られました。ただ増加のクラブは少なく、少しずつ減少しています。特に北浦のクラブが著しいようです。

今年度はコロナ禍で入会者を獲得することが難しいようです。増強委員長にお任せでなく、会員一人ひとりがその気になって説得する以外にないと思います。

公式訪問の卓話でもお話しましたが、こうすれば絶対入会者が増えるという方法はありません。会員一人ひとりが魅力ある人間となり、あの人がいるから一緒にやろうという王道以外にありません。そういった人が集まったクラブは魅力あるクラブといえるでしょう。

とはいいいながら、今年度はコロナの関係で増強は相当に困難だと思います。退会防止に力を入れて欲しいと思います。会員一人ひとりにクラブにおける居場所があり、楽しければ退会は出ないと思います。居場所は心おきなく話せる友人に恵まれることと、クラブにおいて役職があり、クラブに必要とされていることだと思います。

新年を期して、新会員が入会してくれることを期待しています。

楽しくなくてはロータリーではない。楽しく魅力あるクラブでありたいものです。

「疾病予防と治療月間」： ウイルスと共生・共存 —がんの発生・診断「リキッドバイオプシー」—

国際ロータリー第2710地区 2020-21年度
地区研修リーダー 地区がん予防推進委員会カンセラー

田原 榮一



40億年前の「生物の誕生」とともに誕生した「ウイルス」の語源は、「毒液」を意味するラテン語のvirusに由来し、それは、細菌よりはるかに小さく、生きた細胞のみ感染する微生物であり、様々な生物や動物に感染し、そのウイルスがヒトに感染して、ヒトの進化とともにウイルスがヒトに適応してヒトにだけ感染するようになりました。ウイルスには、RNA(リボ核酸)ウイルスとDNA(デオキシリボ核酸)ウイルスとがあり、それら核酸の遺伝子情報によりウイルスは自分の子孫を複製できます。前者のRNAウイルスの代表的なものは、RIが取り組んでいるポリオウイルスと現在我々を悩ましている新型コロナウイルスであり、後者のDNAウイルスには、子宮頸がんを起こすヒトパピローマウイルス(HPV)やB型肝炎を起こすB型肝炎ウイルス(HBV)等が含まれます。

更に、最近のヒトゲノム研究では、ヒトのDNAの40%はウイルス由来であり、ヒトのゲノム進化や生体機能に重要な役割を果たしていることが明らかにされました。このことは、ウイルス感染が必ずしも病気の発症に繋がるわけではなく、ヒトゲノムに取り組みされたウイルス遺伝子が、後述するがん遺伝子やマイクロRNAの様に機能遺伝子として利用されていることを示しています。まさに、**人類の進化はウイルスと共生・共存によるものと云っても過言ではありません。**

そこで、問題のコロナウイルスを観ますと、紀元前8000年ごろ原型ができ、その後、野生動物や家畜に潜んでいたと考えられています。現在ヒトに感染するコロナウイルスは4種類あり、ヒトコロナウイルス、SARSコロナウイルス、MERSコロナウイルス、そして、**新型コロナウイルス感染症(COVID-19)**を起こすSARS-CoV-2です。1960年代、コロナウイルスは、カゼの原因の10-15%を占め、さほど注目されませんでしたが、わずか60年でSARS、MERSを経て今度の「**新型コロナウイルス**」に進化しています。新型コロナは、ウイルスゲノムの変異により、軽症や無症状の感染者が多く、且つ無症状感染者にも感染力があり感染拡大しています。しかし、死亡率が我が国で低いのは、上記類似ウイルス感染による免疫獲得かもしれません。

翻って、我が国では年間約100万人が新たにがんと診断され、毎日新型コロナ感染者数が発表される中、**毎日2700人ががん**に罹患しています。現在コロナ禍でがん検診率が低下し今後進行がんの患者が増加する可能性があります。

がんは、遺伝子異常の病気であり、しかも長い自然史(10-20年)を持っています。即ち、ヒトゲノムに取り組みされたウイルス遺伝子である「**がん遺伝子**」(細胞増殖の促進作用)と「**がん抑制遺伝子**」(細胞増殖の抑制作用)の**遺伝子異常と遺伝子不安定性等**が一つの**正常細胞に累積してがんは発生します。**更に、ウイルス由来の**マイクロRNA(microRNA、miRNA)**が上記遺伝子等の働きを抑える機能を持ち、その**miRNAの異常が、がんの発生、進展、転移**に関与します。ヒトゲノムには2,600のmiRNAがあり、がん促進型miRNAとがん抑制型miRNAとあり、それらの発現量の異常が、特定ながんに見られ、しかも、早期から血液を含む体液に検出されます。現在、小さな分子の**miRNAが、がんの早期発見やがん治療に役立つバイオマーカーとして注目されています。**

他方、我が国のがん治療は著しく進化し、がんの早期発見・早期治療でがんは完治します。しかし、我が国のがん検診率は50%以下であり、現在の60%強の5年生存率を、今後10-20%高める必要があります。

我が地区は、2016年から3年間、がんの一次・二次予防の推進事業を実践してきましたが、もっと手軽に、もっと早期に見つける画期的な検査方法「**リキッドバイオプシー**」について、今年8月1日の脇年度第2回地区がん予防推進委員会において、「**リキッドバイオプシー、Liquid Biopsy、体液生検**」について協議した結果、我が地区にその検査方法を紹介することが決定されました。

「**リキッドバイオプシー**」は、**血液を含む体液中のDNAやmiRNAをバイオマーカーとして、がんの早期発見やがんの個別治療に役立てる画期的な医療技術**であり、がんのスクリーニング、術後のがん細胞残存の有無、分子標的治療薬の選別、再発の超早期診断、抗がん剤治療の効果判定等に応用出来ます(中村祐輔の著書「もうがんは怖くない」より)。

我が地区でこの検査方法を実践しているのは、広島大学発ベンチャービジネスの株式会社ミルテルであり、**血液中のmiRNAなどの小分子RNA**を検出・測定し、男性の12種類、女性の13種類のがんを同時にスクリーニングできます。今後、ミルテルの検査を希望される方は、地区当該グループの地区がん予防推進委員に問い合わせ下さい。



第1回ローターアクトクラブ 地区協議会

国際ロータリー第2710地区 2020-21年度
地区ローターアクト代表

豊田 哲史



9月26日(土)に広島市にて、第1回地区協議会を開催させて頂きました。今年度は例年より2か月遅れての開催となりましたが、新年度をスタートするにあたって、地区ターゲット・地区活動方針を中心にローターアクト第2710地区の運営について報告を行い、皆様に承認を頂きました。現在、コロナウイルスが収束の兆しを未だ見せていない状況にも係わらず、ロータリークラブ、ローターアクトクラブ(以下、RAC)の皆様には多くのご参加を頂きました。誠にありがとうございました。

前年度では新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、年次大会や次年度指導者研修会が中止となりましたので、今回の地区協議会が今年度新たに役職者となるメンバー達の初顔合わせとなりました。地区によってはまだ感染拡大防止のために密となる状況为避免、オンライン会議や活動自体を停止している地区もある中、皆様と直接顔を合わせて、生の声で意見を出し合い協議を進めることができたことは大きな意味があったのではないかと考えています。今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、通常よりも大きくスケジュールを変更して、なるべく短時間で言い、さらに人と人との接触を極力避けるようなプログラムを行うようにして参りました。また、マスクの着用、消毒、検温、「新型コロナウイルス接触確認アプリ-COCOA」のダウンロード、「広島県コロナお知らせQR」の登録など、出来る限りの感染防止対策に取り組みました。

私からは、今年度の地区ターゲット・地区活動方針を発表させて頂きました。今年度の地区ターゲットは「One for All All for One」としました。この言葉には「一人は皆のために皆は一人のために」という意味があり、なぜこの言葉を選んだのかというと「会員数の減少」という問題が理由の一つにあったからです。現在、2710地区の各RACは深刻な会員数の減少が続いている状況だと思っています。そのため、役職者や地区行事への参加者が毎回同じなど、RACでの活動が、一定の決められた個人に偏っているように見受けられます。役割や活動を同じ人に任せっきりにならないように、お互いサポートし合って、さらなる成長に向けて進めればと思います。また、会員数が比較的多いRACに



ついては、RAC内だけでなく、他RACの活動を合同例会などの形で手助けできるように精力的なアクト

活動を目指していければ、2710地区全体の活性化にも繋がるのではないかと考えています。そして、それぞれのRACが持っている課題や改善点を会員全員の共通認識の上での目標として、ロータリアンのご協力も頂きながら目標達成のために何が出来るかを会員一人一人考え、奉仕の精神を持ってお互い助け合いながらこの地区ターゲットを実現できればと思います。

そして活動方針では、【目標設定】【会員増強】【メンバー同士の親交を深める】【新しいことへの挑戦】という4つの柱を掲げさせて頂きました。中でも【新しいことへの挑戦】について、現在コロナ禍の中で今年度のロータリー活動は、今までと同じようにはいかないことに多く直面すると思います。そんなときこそ会員同士で意識を高め合い、柔軟な対応や新しいやり方を模索していく必要があります。この状況を、新たな可能性を見つけ出すチャンスと捉え、チャレンジの精神を止めることなく、一人一人が少しずつでも力を出し合って協力していきたいと考えております。

メインプログラムでは各RACの会長に、RAC紹介・コロナ禍でのRAC運営についての発表をして頂きました。今年度は新型コロナウイルスの影響で、例会の開催や参加などについて各RAC工夫をしながら執り行われている状況でした。このような状況においてもRACによっては地域と連携したり、自分が所属する企業の事業内容を活かしたりして、地域の活性化に繋がるような活動を行っているRACもありました。また、外国人の会員が増えてきているRACもあり、グローバル化が進んでいるような印象を受けました。海外の文化や考え方を近い距離で共有し学ぶことで、さらに視野が広がり、私達のステップアップに繋がっていかないと考えています。

全体会議の最後では、前年度地区RA委員長の目崎様より「RACの年齢制限について」の議題を挙げて頂きました。2019年10月、国際ロータリー理事会はRA会員年齢の上限を取り除く決定をし、今年度より実施されています。今回は各RACの対応や、見解についてそれぞれ意見を頂き協議しました。

今年度は過去に例を見ないほど過酷な一年になると思いますが、高い壁の分、より大きな成長に繋がる一年であると思い、「挑戦」の年として邁進して参りますのでどうぞ宜しくお願い致します。



第2回諮問委員会報告

国際ロータリー第2710地区 2020-21年度
地区代表幹事

松原 博幸



去る9月24日(木)第2回諮問委員会を開催いたしました。当日は14時30分受付開始、15時より委員会を開始いたしました。今回は皆様ご承知の通り、新型コロナウイルスの感染が続いている情勢に鑑み、また不要不急の集まりを避け、委員会参加者の皆様の安全・健康を最優先に考え、ZOOM形式で開催するに至りました。尚、当日スムーズに開催出来るよう9月8日(火)に事前テストも実施致しました。

脇ガバナーと私の予想では、参加者の方が少ないのでは?とっておりましたが、受付開始して間もなく大勢のバスターガバナーの皆様のお顔を拝見することが出来ました。脇ガバナーと私は公式訪問で目にかかった方もいらっしゃると思いますが、バスターガバナーの皆さん同士では暫くお会いできずZOOMでの久々の顔合わせで和気あいあいの雰囲気のひとつときでした。また当日は遠く横浜よりご参加いただいたバスターガバナーもおられ、リモート会議ならではの大変うれしく思いました。



最初に晝田眞三直前ガバナー年度報告をしていただきました。晝田直前ガバナーの挨拶の後、晝田年度地区会計長の日下様より、去る9月11日に公認会計士、また16日には地区会計監査岡田バスターガバナーより承認を受けての決算内容をご報告いただきました。

続いて会員の動向について触れられ、2019年7月期首会員数3,294名(内女性会員172名)、2020年6月末現在3,156名(内女性会員174名)で138名の減との報告がありました。

その後、2020-21年度 脇 正典ガバナーより本年度報告が以下のようにされました。

1.義援金

令和2年7月九州豪雨災害義援金(地区内73RC合計3,121,120円)を2720地区(熊本・大分)へ2,371,120円、2700地区(福岡・佐賀、長崎の一部)へ750,000円送金。

2.地区活動並びに概況報告

1) 公式訪問

9月24日現在、訪問終了41クラブ(内、合同8回)、残り25クラブ(内、合同3回)、中止7クラブ(新型コロナウイルス感染防止の為)。台風の為、訪問延期1件。

2) 会員の動向

本年7月期首会員数3,155名(内女性会員174名)、

8月31日現在3,221名(内女性会員176名)で純増66名。

3) 地区奉仕プロジェクト委員会

①社会奉仕

今年度も下関西RCCは休会の為、防府・柳井西・広島廿日市RC提唱の3RCCのみ活動。

②青少年奉仕

RYLA: 2021年5月22日(土)~23日(日) 尾道ふれあいの里(ホスト尾道RC)
ローターアクト: 第43回年次大会 2021年4月17日(土) 会場未定
インターアクト: 新型コロナウイルス感染拡大を考慮しIA地区大会・日韓親善IA歓迎式・韓国研修旅行等行事中止。

青少年交換: 2020-21年度は3名の候補あったが、新型コロナウイルス感染拡大を考慮し中止。また、2021-22年度派遣学生申請者は9月24日現在1名。

4) ロータリー財団

①寄付状況(8月31日現在)

寄付金額: 167,880.16ドル
PHF: 34名 マルチプルPHF: 35名
ベネファクター: 5名

②グローバル補助金

新規6件(実施中4件、作成中1件、次年度へ延期1件)

③地区補助金

189,030.70ドル 対象29RC(通常17RC、特別8RC、GG視察3RC、DG奨学生1RC)

5) 米山記念奨学会

研修旅行実施 2020年8月20日(木)~21日(金) 平和記念公園・宮島

6) IMの開催日程(G1~G12)

続いて、杉川 聡ガバナーエレクトより21-22年度ガバナー補佐・地区役員(案)の紹介及びRLI検討委員会の報告があり、第13期RLIの開催は中止となりました。

最後に田原バスターガバナーより8月1日開催の第2回がん予防推進委員会の報告があり、がんの1次予防・2次予防を推進し対応することが出来る、がんをもっと手軽に簡単に見つける検査方法についてガバナー月信12月号に掲載するので、是非一読していただきたいとの報告がありました。

次回第3回諮問委員会は12月16日(水)に防府市にて開催予定です。



特別コラム

検診とがんの最新診断技術について

国際ロータリー第2710地区
がん予防推進委員会 委員

津田 廣文



今回、検診（人間ドックを含む）とがんの最新の診断技術について紹介させていただきます。

最初に、同じ「けんしん」でも「健診」と「検診」があります。「健診」とはいわゆる健康診断のことで、自分の健康状態を確認し、病気を予防することを目的としています。

代表的な「健診」は、労働安全衛生法で年に1回以上義務付けられている企業の定期健康診断です。次に各自治体が実施している特定健診があります。メタボリックシンドロームに特化したいわゆる「メタボ健診」のことで、40歳-74歳までを対象に生活習慣病の予防・早期発見を目的としています。検査の結果、生活習慣病の発症リスクが高いと判明した人には、保健師、管理栄養士による指導が実施されます。

次に、「検診」とは特定の病気を発見するための検査のことを指し、病気を早期発見し、早期治療につなげることを目的としています。

代表的な「がん検診」について述べてみます。日本のがん検診は市区町村などの住民検診に代表される対策型検診と、人間ドックなどの任意型検診があります。

市区町村が実施するがん検診は1983年に施行された老人保健法に基づきスタートしました。がん死亡率の減少を目的として、有効性が確立された検査方法に従って実施されます。死亡原因の上位を占める、胃がん、肺がん、大腸がん、男性の前立腺がん、女性の乳がん、子宮頸がんの6種類のがん検診があり、早期発見を目的に各自治体が一定の年齢範囲の住民に対して実施しています。

病気の早期発見・早期診察を目的とする任意型検診の代表例が人間ドックです。人間ドックの歴史は1954年、国立東京第一病院（現在の国立医療センター）でスタートした「短期入院総合精密身体検査」にさかのぼり、当時は6日間の入院で全体的な検査と診察が行われました。その後1958年に聖路加病院で1泊2日の短期入院ドックが考案され広く普及することになりました。

人間ドックでは、基本的な健診内容に加えて、女性特有の病気や、脳に特化した検査など医療施設によってさまざまな種類のオプションやコースが用意されています。また、一般的に、精度が高い検査を受けられるので、がんを早期に発見できる可能性は高

いのですが、ただ、X線検査やCT検査、MRI検査、PET検査はいずれも画像から異変を見つける検査で、医師の診断能力の違い、クリニックによる施設間格差は大きいと考えます。

私自身も56歳となった2004年から、家内の実家のある静岡県浜松市の総合病院聖隷三方原病院に併設された聖隷予防検診センターで、毎年1泊2日の人間ドックを受診しています。全身の臓器のチェック、特に脳のMRI検査と、心臓エコー・ホルター心電図、大腸内視鏡検査は必須です。脳と心臓に異常がないことで1年間安心して医業に従事することができます。

同一の検診センターで継続して受診すると画像診断で、以前の画像との比較ができ医師の診断に役立ちます。また精査・治療が必要な場合、専門医療機関への紹介状が添付されます。

このように様々な種類と目的がある「健診」と「検診」をうまく活用して、健康維持や病気の予防・早期発見に役立てていただきたいと思います。

最後に8月1日の第2回がん予防推進委員会でカウンセラーでパストガバナーの田原榮一先生から紹介された、がんのスクリーニングに役立つ「リキッドバイオプシー」（マイクロRNAの血液測定）について述べてみます。

このリキッドバイオプシーは、血液中の小さな分子RNAをバイオマーカーとして早期のがんを発見する画期的な医療技術といわれています。男性の12種類のがん、女性の13種類のがんを同時に検索することができますと説明がありました。

ダメージが少なく、安全で痛みがなく、繰り返し実施でき、リアルタイムにがんの状態を知ることができる利点があります。また、がんのスクリーニング以外にも、がん再発の超早期診断や、抗がん剤治療の効果判定にも応用できると言われています。

がんの治療率を改善するには、①早期の段階での発見を増やす②再発を出来るだけ早く見出し治療する③自分に合った薬を見つける、と言われています。リキッドバイオプシーはそれら3点に全て活用できる画期的な検査方法であり、広島大学発ベンチャービジネスのミルテル株式会社が実用化していると田原先生から紹介がありました。

「血液検査でがんは変わる」時代への扉を開く機会を提供する画期的な研究技術だと実感いたしました。

国際ロータリー第2710地区 2020-21年度会員増減・出席率(2020年10月度)

グループ	クラブ名	平均出席率	年度初7/1	当月末日	会員数	本年度
1	長門	96.88	19	18	3	1 2
	下関	75.68	45	46	1	1 0
	下関中央	84.66	38	38	8	0 0
	下関東	76.37	56	63	3	7 0
	下関北	89.47	41	43	1	2 0
2	下関西	87.68	32	33	0	2 1
	計	85.12	231	241	16	13 3
	秋	98.42	51	51	1	0 0
	秋東	97.08	25	27	0	2 0
	美祿	63.05	24	23	1	0 1
3	小野田	61.88	40	40	2	0 0
	宇部	97.56	42	44	2	3 1
	宇部東	62.13	12	12	1	0 0
	宇部西	89.78	48	49	4	2 1
	計	81.41	242	246	11	7 3
4	防府	91.29	56	60	1	4 0
	防府北	95.74	23	24	3	1 0
	防府南	75.45	40	39	5	1 2
	山口	87.56	40	46	4	7 1
	山口中央	90.35	27	26	1	0 1
5	山口南	95.57	44	44	5	0 0
	計	89.33	230	239	19	13 4

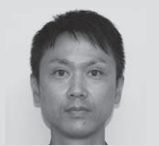
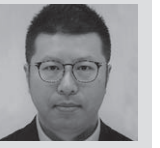
グループ	クラブ名	平均出席率	年度初7/1	当月末日	会員数	本年度
6	光	68.41	44	47	0	3 0
	周南西	100.00	54	57	6	4 1
	徳山	100.00	43	47	1	4 0
	徳山セントラル	87.84	22	23	1	1 0
	徳山東	100.00	46	49	0	3 0
7	計	91.25	209	223	8	15 1
	岩国	87.44	63	63	0	1 1
	岩国中央	90.86	38	38	3	0 0
	岩国西	91.62	60	62	5	3 1
	柳井	100.00	31	32	3	1 0
8	柳井西	98.30	22	24	4	3 1
	計	93.64	214	219	15	8 3
	広島	100.00	112	124	2	13 1
	広島安芸	100.00	44	44	3	0 0
	広島安佐	87.92	21	21	1	0 0
9	広島東	100.00	105	115	8	13 3
	広島北	98.00	98	101	0	4 1
	広島陵北	98.51	56	55	2	0 1
	大竹	89.40	31	31	0	0 0
	計	96.26	467	491	16	30 6

グループ	クラブ名	平均出席率	年度初7/1	当月末日	会員数	本年度
10	広島中央	100.00	74	74	7	0 0
	広島廿日市	94.86	23	21	1	1 3
	広島城南	100.00	40	39	3	0 1
	広島南	100.00	84	89	0	6 1
	広島東南	100.00	96	96	14	3 3
11	広島西南	100.00	71	69	3	0 2
	広島西	100.00	86	88	3	2 0
	計	99.27	474	476	31	12 10
	江田島	87.50	18	18	0	0 0
	東広島	89.29	26	29	3	3 0
12	東広島21	74.86	19	19	4	0 0
	呉	88.37	69	69	1	1 1
	呉東	86.44	33	33	1	0 0
	呉南	90.86	56	56	1	0 0
	西条	100.00	33	33	2	0 0
13	計	88.19	254	257	12	4 1
	広島空港	87.40	28	28	3	0 0
	因島	95.57	16	16	0	0 0
	三原	90.96	57	55	0	0 2
	尾道	81.87	76	84	2	9 1
14	尾道東	86.55	55	55	7	1 1
	瀬戸田	66.66	3	3	0	0 0
	竹原	97.48	18	17	3	0 1
	計	86.64	253	258	15	10 5

グループ	クラブ名	平均出席率	年度初7/1	当月末日	会員数	本年度
15	府中	85.34	25	24	2	0 1
	福山	93.26	83	81	0	0 2
	福山東	81.05	47	47	3	0 0
	福山丸之内	99.74	29	30	1	1 0
	鞆の浦	78.09	21	21	0	0 0
16	福山REC2710※	85.57	13	13	2	0 0
	計	87.18	218	216	8	1 3
	福山赤坂	94.74	52	53	5	2 1
	福山北	97.55	38	39	2	2 1
	福山南	85.96	52	56	2	4 0
17	福山西	98.11	33	33	2	1 1
	松永	92.32	51	51	2	0 0
	計	93.74	226	232	13	9 3
	吉舎	99.56	14	14	0	0 0
	三次	85.70	35	38	0	4 1
18	三次中央	88.17	38	39	5	1 0
	三原	92.30	31	33	5	3 1
	東城	84.53	18	18	1	0 0
	計	90.05	136	142	11	8 2
	第2710地区計	89.88	3154	3240	175	130 44

※正式名称「福山ロータリーエクラブ2710」

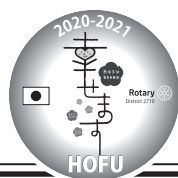
新会員紹介

 千々松 健太郎 長門 2020年10月6日 地方銀行	 網本 有二 宇部 2020年10月3日 電気工事	 高井 信明 宇部 2020年10月15日 運送業	 仲間 充彦 防府南 2020年11月5日 地方銀行	 金井 龍夫 徳山東 2020年9月9日 鋼材販売	 村重 雅崇 岩国 2020年10月1日 醸造【清酒製造】	 山本 昌弘 岩国西 2020年10月30日 商業銀行
 浅井 譲司 広島 2020年10月6日 不動産業	 中丸 裕史 広島 2020年10月13日 証券業	 村重 紀構 広島西 2020年11月5日 建築設計	 宮原 和樹 東広島 2020年10月13日 輸送用機械器具製造	 村上 孝治 東広島 2020年10月13日 家庭用電気器具販売	 繁富 弘樹 尾道 2020年7月3日 商業銀行	 三浦 正誉 福山 2020年11月9日 テレビ放送
 中川 達也 福山赤坂 2020年10月27日 事務用品販売	 影浦 宏樹 福山赤坂 2020年10月27日 社労士	 石田 一孝 三次 2020年10月8日 建設資材販売	 吉田 善孝 三次 2020年10月22日 病院	 篠原 薫 三次中央 2020年11月2日 人材派遣業	 神田 和美 庄原 2020年6月23日 信用金庫	 吉村 章伸 庄原 2020年7月21日 商社

謹んで 追悼の意を表します  2020年10月21日 ご逝去(享年74歳)	【ロータリー歴】 2004-05年度 会長 2002-03年度 幹事 マルチプル・ボール・ハリスフェロー1回 米山功労者4回 【職 業 分 類】郵政事業
	三原 故 児玉 幸雄 殿

国際ロータリー 第2710地区 事務局

〒732-0822
広島市南区松原町1-5 ホテルグランヴィア広島6F
TEL : (082) 506-0055 FAX : (082) 263-2323
E-mail : info@ri2710.com
URL : http://ri2710.com



Rotary
District 2710



2020-2021

国際ロータリー第2710地区

地区大会 in防府

2021. 5.15(土)・16(日)

国際ロータリー第2710地区
2020-2021年度ガバナー 脇 正典

ホストクラブ 防府ロータリークラブ

1日目 5.15(土)

大会諸委員会、歓迎昼食会、会長幹事会、基調講演
RI会長代理ご夫妻歓迎晚餐会
日韓交流パーティー【防府グランドホテル】

2日目 5.16(日)

本会議、記念講演会「東京大学史料編纂所教授 本郷和人氏」【防府市公会堂】
大懇親会【ソルトアリーナ】

記念
講演



東京大学史料編纂所 教授

ほん ごう かず と
本郷 和人氏

編集後記

山口県防府市大道の小俣地区に伝わる神事「笑い講」は、鎌倉時代に始まったとされ約820年の歴史があり、防府市の無形民俗文化財に指定されています。

毎年12月の第一日曜日に執り行われ、サカキを持って「ワーッハッハッハ」と豪快に笑って1年の憂さを払い、来年の豊作を祈願する天下の奇祭ともいわれています。

今年を振り返るとコロナ禍の影響が長期化する中で「笑い」も少なく、生活リズムや環境など様々な事が

変わったように思えます。

しかし変わらないものもあります。それは「人は必ず笑う」という事です。

誰しも辛く、悲しく、苦しく、とても笑えそうにない時があります。どんな時でも少しでも笑顔になれば、その笑顔はきっと次なるチカラになると信じています。防府市が誇る奇祭「笑い講」から、「笑いの魅力」が庶民文化として世界中に広がり、全ての人々が笑顔で平和に暮らせることを願うばかりです。 林 勲